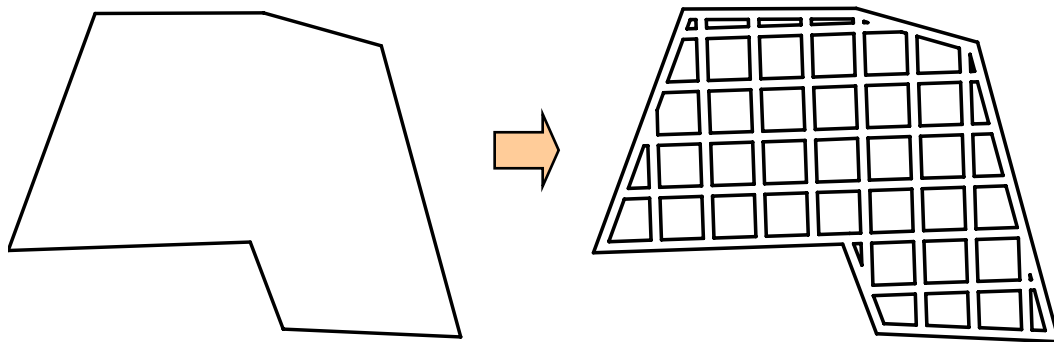


のり枠自動作図 for 図脳 RAPID

(周囲枠ありタイプ)

Ver1.0 2006.01.30



■ ツール名称

のり枠自動作図 for 図脳 RAPID

■ 動作対象

- ・ 図脳 RAPID シリーズ

※ 図脳 RAPIDPro13、図脳 RAPIDPro14 で動作確認済み

- ・ 本ツールは VisualBasic6 を用いて作成していますので、VB6 ランタイムが必要です。(VisualBasic6 がインストールされている環境では VB6 ランタイムは不要です。)VB6 ランタイムはネット上から入手して導入してください。

■ 機能・概要

輪郭線が作図されたのり面展開図の内部に のり枠を自動作図します。

■使用手順

- ① 図脳 RAPID を起動して、展開図を準備します。

既存のファイルを開くか、新たに輪郭線を作図しておきます。

- ② 「のり枠自動作図」を起動します。

「のり枠自動作図」の起動方法には次の二通りがあります。

方法-1 : 「のり枠自動作図.exe」を直接実行する。

方法-2 : 図脳 RAPID の「ツールメニュー」から起動する。

方法-2 の場合にはあらかじめツールに登録しておく必要があります。ツールへの登録方法は “■ツールへの登録方法” を参照ください。

- ③ のり枠作成用データ入力ダイアログ(下図参照)が表示されますので必要箇所を入力して [作図開始] ボタンを押して下さい。

のり枠自動作図 (周田枠あり)

枠寸法
縦枠幅 WX 300 mm
横枠幅 WY 300 mm

枠間隔
縦枠間隔 LX 2000 mm
横枠間隔 LY 2000 mm

横枠角度
 下端に平行
 水平 (TX=0°)
 水平と TX [] 度

縦枠角度
 下端に直角
 鉛直 (TY=90°)
 水平と TY [] 度

作図レイヤ
 作図レイヤを指定する
作図レイヤ番号 2000

作図基準位置
下のボタンを押した後で、のり枠交点座標をマウスでクリックして下さい。

作図基準位置指定 SX= [] SY= []

作図開始 終了

Ver 1.0 (2006.01.30) CIVILTEC

データ入力ダイアログでは下記の項目を入力します。

- 枠寸法 (WX,WY)

のり枠の断面寸法を入力します。単位はmmです。

- 枠間隔 (LX,LY)

のり枠間隔を入力します。単位はmmです。

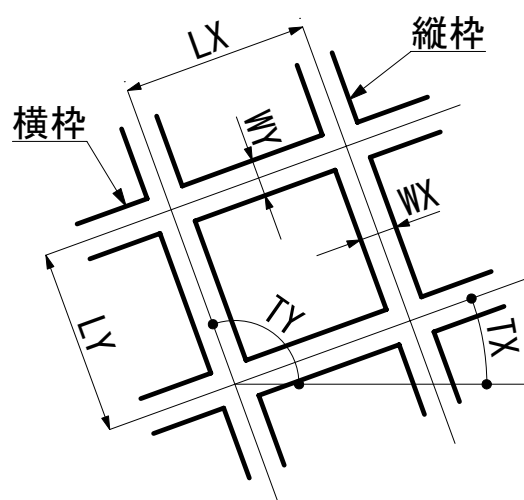
- 枠角度 (TX,TY)

のり枠の傾斜角度を次の3通りから指定します。Case-3 の角度を直接入力する場合、単位は“度”です。

Case-1 横枠: 下端に平行、縦枠: 下端に直角

Case-2 横枠: 常に水平、縦枠: 常に直角

Case-3 任意角度



※ 角度は 水平線を基準に反時計回りを正(+とする)。

- 作図レイヤ番号

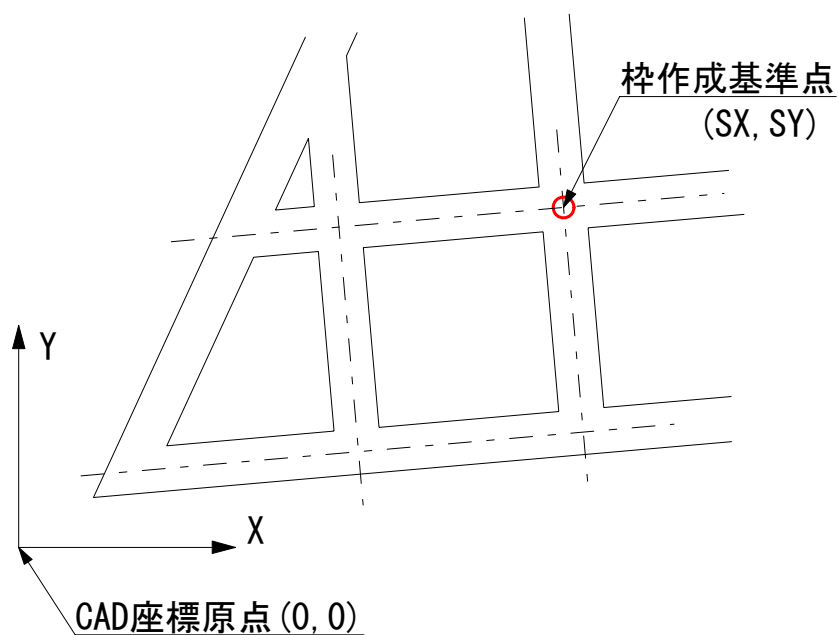
のり枠を作図するレイヤを指定する場合は、チェックを入れて、レイヤ番号を入力します。

チェックを入れないと、現在のレイヤに作図します。

● 作図基準位置 (SX,SY)

のり枠作図の基準点となるのり枠交点の位置(座標)を指定します。交点座標(X,Y)を直接入力するか、[作図基準位置指定ボタン]を押した後で、マウスで基準点(枠交点位置)をクリックして下さい。

※ 基準点は展開図内部の位置ならどこでも構いません。

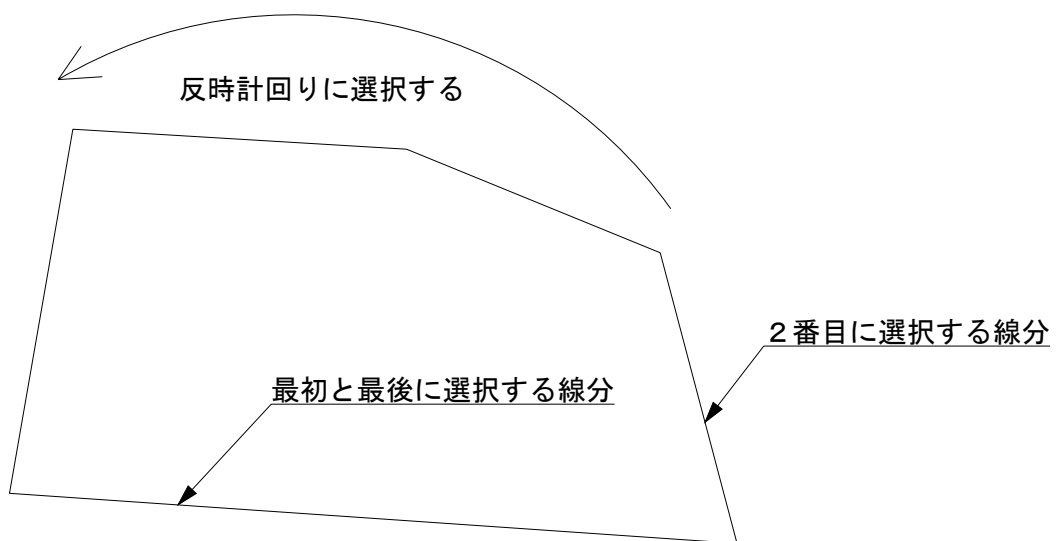


④ アウトライン指定

[作図開始] ボタンを押した後で、のり面の輪郭線(アウトライン)を構成する線分をマウスでクリックしながら指定します。

- ・ 最初は下端の線分を指定して下さい。
- ・ 反時計回りに指定して下さい。
- ・ 最後に、[最初に選択したライン]をもう一度クリックして下さい。

以上で、展開図の中にのり枠が作図されます。



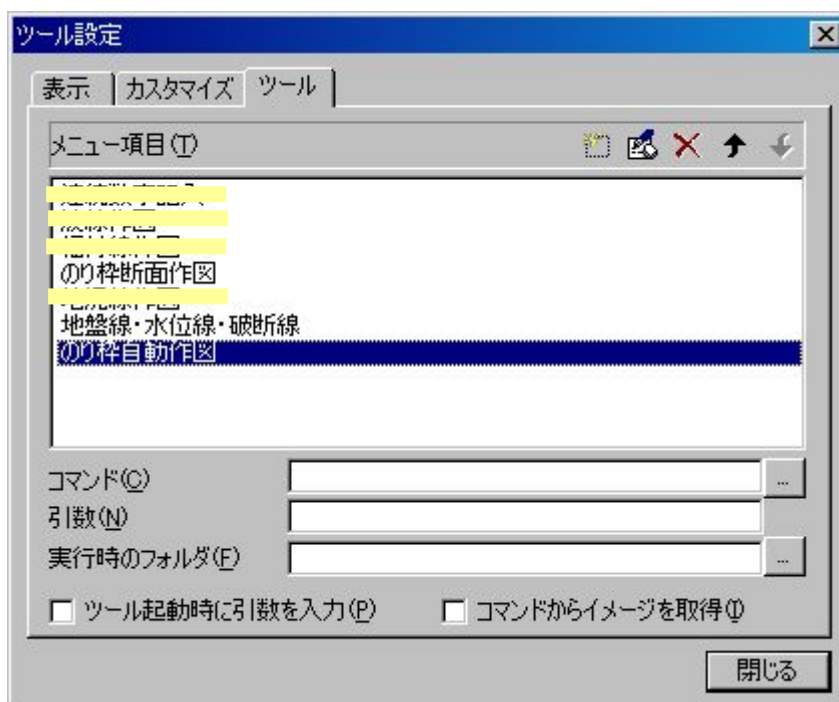
■ ツールへの登録方法(図脳 RAPID Pro13、14 の場合)

本ツールを図脳 RAPID のツールに登録する手順を示します。

1. 図脳 RAPID 、図脳 RAPID Pro を起動します。
2. 起動後、メニューから[ツール(T)] → [ツール設定(T)]を選択します。
3. ツール設定ダイアログが表示されるので、ツールタブをクリックします。
4. [メニュー項目(T)][の右にある[新規作成]ボタンをクリックします。
5. メニュー項目が追加されますので、適当な名前を付けて登録します。
6. [コマンド(C)]欄の右端のボタンを押すとファイルを開くダイアログが表示されるので、実行ファイルがあるフォルダを開き、その中から実行ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックします。
7. [引数]、[実行時のフォルダ]やその他のチェックボックス欄は空欄とする。
8. ツールの設定ダイアログで[閉じるボタン]をクリックします。

以上で、ツールへの登録は完了です。

メニューから[ツール(T)]を選ぶと、登録したツールが表示されるので、マウスで選択することでツールを起動することができます。

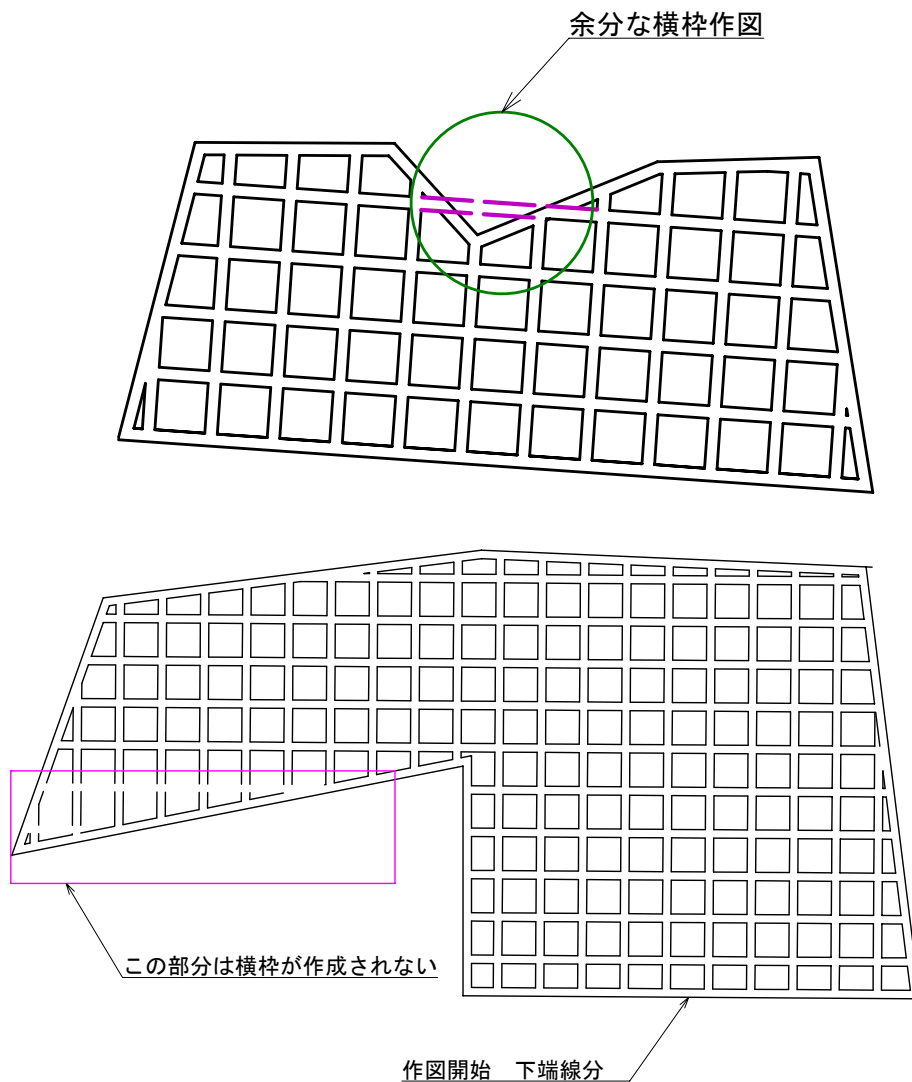


■ 仕様・制限事項等

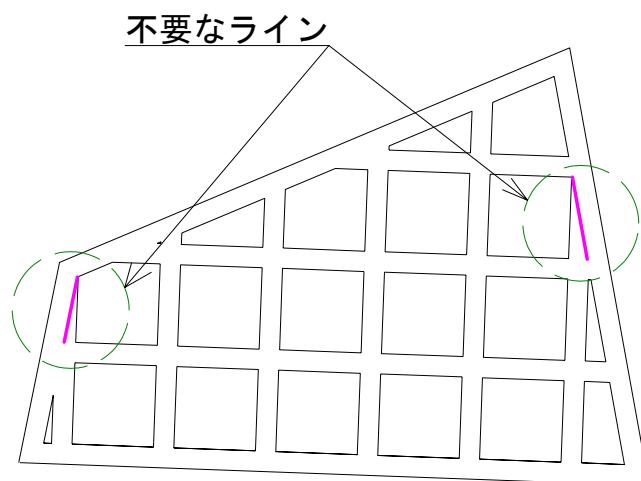
① 枠の周囲(上下左右縁)には必ず枠が設置されます。

※ 周囲枠が不要なタイプののりわく作図には、
「周囲枠なしバージョン」をご利用ください。

② 複雑な形状の展開図では正常な枠作成できません。特に凹型の展開図では不具合が生じます。作図後の手直し作業が必要となります。(下図参照)
(それでも、手書きで描くより便利かも…………)



- ③ のり枠形状によっては天端、左右端にゴミが残ることがあります。
ゴミを見つけたら手作業で削除して下さい。



- ④ 展開図の縦と横の縮尺が違う場合には対応していません。

—— 以上 ——

有限会社 シビルテック 洋洋

要望、アドバイス、バグ報告等はこちらへ → you@civiltec.co.jp

<http://www.civiltec.co.jp/>